

◆診療方針

消化器内科は消化器疾患全般について診療しております。

胃十二指腸潰瘍に対して、内視鏡的止血術、ピロリ菌感染の診断と除菌治療。また、消化管悪性腫瘍に対して、内視鏡検査を中心に、早期診断・内視鏡的治療・外科手術が必要な場合は外科との連携による的確な紹介を行っています。

また、B型あるいはC型肝炎ウイルスによる慢性肝炎、肝硬変に対するインターフェロンによるウイルス排除、肝癌に対する動脈塞栓術・リザーバ動注療法を行っています。またラジオ波焼灼療法や肝移植が適応となる患者様については三重大学病院等と密に連絡をとり適切に御紹介させていただいています。

今後は、消化器癌の症例増加を踏まえて、これまでの治療方針に加えて、さらに、大腸内視鏡検査数の増加・超音波内視鏡検査による癌診断の充実・進行癌に対する抗癌剤治療さらに、末期癌症例に対する緩和医療などにも取り組んでいきたいと考えています。

◆主疾患を含む治療性成績

平成 30 年 消化器科入院診療実績

肝癌	89
食道癌	5
胃癌	59
十二指腸・小腸癌	6
大腸癌	69
胆道癌	31
膵癌	37
胃ポリープ	8
大腸ポリープ	88
胃・食道静脈瘤	10
胃・十二指腸潰瘍	67
胃腸炎	103
消化管出血	58
腸閉塞	61
肝炎	36
肝硬変・肝不全	23
胆石症・胆道炎	148
膵炎	22
その他の消化器疾患	47
その他	252
総数	1219

◆主疾患治療プロトコール

胃・大腸ポリペクトミークリパス

ウイルス肝炎に対するインターフェロン治療クリパス

肝癌に対する動脈塞栓術、エタノール局注、ラジオ波焼灼療法のクリパス

食道静脈瘤内視鏡的治療クリパス

などがあります。

◆その他

平成 30 年 消化器検査および治療施行数 (下記は当院全体の施行数です)

上部消化管内視鏡	2060 例
上部拡大内視鏡	198 例
経鼻内視鏡	36 例
超音波内視鏡(上部消化管)	20 例
上部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	20 例
上部消化管内視鏡的ポリープ切除術	4 例
食道静脈瘤結紮術(EVL)/硬化療法(EIS)	17 例/11 例
上部消化管内視鏡的止血術	108 例
内視鏡的上部消化管ステント挿入術	5 例
内視鏡的胃瘻造設術(PEG)	43 例
経皮経食道胃管挿入術(PTEG)	3 例
下部消化管内視鏡	1396 例
下部拡大内視鏡	45 例
下部消化管内視鏡的ポリープ切除術	411 例
下部消化管内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	7 例
内視鏡的下部消化管ステント挿入術	14 例
内視鏡的逆行性胆管膵管造影	139 例
内視鏡的胆道ドレナージ(ENBD/ERBD)	11 例/67 例
内視鏡的総胆管結石除去術(EST/EPBD)	38 例/8 例
内視鏡的胆管ステント挿入術	6 例
超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診(EUS-FNA)	16 例
カプセル内視鏡(小腸/大腸)	3 例/4 例
肝動脈塞栓療法 (TAE/TAI)	27 例/7 例
肝腫瘍ラジオ波焼灼術(CT/エコーガイド下)	5 例/12 例